



参拝後、再び楼門をくぐり、今度は北参道へ。やはり両側には、ケヤキ、クスノキ、マテバシイ、シラカシなどの高木が立ち並んでいます。その先の北鳥居をくぐるともう青梅街道は目の前です。



境内の木々は、それぞれこの季節ならではの多彩な<sup>かお</sup>貌を見せてくれました。

### 北参道

### 本殿

本殿の背後に広がる鎮守の杜。神社を守る深い緑の杜です。ほとんど人の手が加わらないため、多種多様な植物が集まっています。



### アクセス

杉並区善福寺1-33-1

交通：荻窪駅北口バス乗り場  
0番から荻32～36の  
いずれかで  
「井草八幡宮」下車



内庭の中心に立つ二代目の頼朝お手植えの松。源頼朝は奥州藤原氏征討の折、戦勝を祈念し雄松雌松(クロマツ、アカマツ)を植

えましたが、2本とも枯れてしまい、現在はこのクロマツが二代目として大きく育っています。今年も元気にたくさんの花をつけました。



クロマツの花



頼朝お手植えの松(二代目)

初代のクロマツは、天然記念物に指定されたほどの大木。樹齢も800年を超えていました。枯れた後は、衝立に姿を変え、回廊に展示されています。



ウ、ケヤキ、マツ、  
並んでいます。

